

# ビジネスの力で持続可能な社会を実現

リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済(Prosperity)、社会(People)、地球環境(Planet)の3つのPのバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」>1として表しています。この目指すべき社会の実現にむけ、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤の強化」「社会貢献」の3つの活動に取り組み、国際社会で合意された「持続可能な開発目標(SDGs)」>2の達成に貢献していきます。

10 詳しくは本誌  
1 トップインタビュー  
P09

## サステナビリティの取り組み

事業を通じた社会課題解決  
マテリアリティに基づく事業

経営基盤の強化  
人材強化 > P53-56 参照  
人権配慮・環境負荷削減 等

社会貢献  
地域社会に貢献する活動 > P91 参照

## SDGs達成への貢献

### 事業を通じた社会課題の解決

リコーグループは、すべての事業活動を通じて、社会課題の解決に貢献すること、社員一人ひとりの仕事と社会への貢献を明確にし、社員の働きがい、エンゲージメントを高めることを目指して、経営統合を推し進めています。

2019年6月、これらの取り組みをさらに加速させるため、5つのマテリアリティに対する2030年目標

を設定しました。今後は、2030年目標の達成にむけて、事業活動を進め、毎年の進捗を開示していく予定です。また、目標値、指標や評価方法は、社会要請や国際情勢を踏まえ、お客様、社会セクター、有識者などステークホルダーの皆様のご意見を伺いながらブラッシュアップを続け、事業活動にも反映させていくことで、社会への貢献を拡大してまいります。

## 1. リコーグループのサステナビリティ活動のフレームワークと2030年目標

持続可能な経済、社会、地球環境の各領域に、目指す社会、取り組むマテリアリティ(重要課題)とそれに対する2030年目標を設定。各目標は、お客様への貢献度、リコーグループのテクノロジーを活用した医療・教育・地域サービスの利用者数、バリューチェーンでの環境影響としています。

| 目指す社会   | Prosperity<br>持続可能な経済<br>企業の持続的発展                   |  | People<br>持続可能な社会<br>人々の生活基盤の向上       |  |  | Planet<br>持続可能な地球環境<br>バリューチェーン全体の環境負荷削減 |  |  |
|---------|---|--|---------------------------------------|--|--|--|--|--|
| マテリアリティ | <br><br>生産性向上      知の創造                             |  | <br><br><br>生活の質の向上                   |  |  | <br><br><br>脱炭素社会の実現      循環型社会の実現       |  |  |
| 2030年目標 | 価値を提供するすべての企業の生産性の向上に貢献する                           |  | 3,000万人以上の生活基盤の向上に貢献する                |  |  | GHGスコープ1,2の30%削減、スコープ3の15%削減を達成する        |  |  |
| 評価指標    | ・お客様の生産性向上、知の創造への貢献度(顧客調査で把握)<br>・提供社数              |  | ・リコーグループのテクノロジーを活用した医療・教育・地域サービスの利用者数 |  |  | ・バリューチェーン全体のGHG排出量<br>・製品の省資源化率          |  |  |
| 提供価値    | EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES<br>人々の“はたらく”をよりスマートに。 |  |                                       |  |  |  |  |  |

10 詳しくはWEB

1 Three Ps Balance [jp.ricoh.com/environment/management/earth.html](http://jp.ricoh.com/environment/management/earth.html)

## 2030年目標設定のプロセス

1. SDGsが目指す社会からのバックカスティングと、事業戦略・提供価値(EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES)からのフォアカスティングの両軸で検討。
2. 自社の事業活動の結果、誰にどのような変化をどのくらい創出するのかの因果関係を整理。
3. 経営層との議論、有識者とのレビューを実施し、ESG委員会 > 図にて決定。

## 2. 事業ごとのマテリアリティ・SDGs貢献領域 > 図

| マテリアリティ                               | SDGs   | 事業領域                                    |                      |  |   |                            |  |                                     |
|---------------------------------------|--|---|----------------------|--|---|----------------------------|--|-------------------------------------|
|                                       |  | オフィスプリンティング<br>/ オフィスサービス<br>> P25-28参照 | 商用印刷<br>> P29-30参照   | 産業印刷<br>> P31-32参照                                       | サーマル<br>> P33参照                         | 産業プロダクト<br>> P34参照         | Smart Vision<br>> P35参照                  | 新規育成<br>> P36-37参照                  |
| <b>Prosperity</b><br>生産性向上<br>知の創造    | <br>   | 企業の業務ワークフロー自動化・省力化により、オフィスワークの生産性向上     | 印刷業界のバリューチェーン全体の価値向上 | 産業用インクジェットヘッド、作像システムソリューション、産業用プリンターの提供により、バリューチェーン変革を支援 | 感熱紙、熱転写リボンでのバーコード印字による個人情報自動認識を通じた生産性向上 | 光学や画像処理技術、IoT技術により産業の革新に貢献 | 360°コンテンツとAI・画像分析を活用し、企業の業務効率化、高い付加価値へ貢献 | アディティブ・マニュファクチャリング事業により、製造業の製造革新に貢献 |
| <b>People</b><br>生活の質の向上              | <br><br>      | ICT活用や遠隔授業などを活用した新たな授業スタイルの推進           | 付加価値印刷により多様なニーズへの対応  | 安心・安全な衣・食・住のグローバル環境を提供                                   | QRコード等の印刷による情報へのアクセス向上                  | 高度運転・自動運転を支え、交通の安全性に貢献     | 360°コンテンツを活用し、教育の質の向上に貢献                 | ヘルスケア事業により、世界の人々の健康寿命の延伸を実現         |
| <b>Planet</b><br>脱炭素社会の実現<br>循環型社会の実現 | <br><br> | 低消費電力・省資源・リサイクルなどの商品開発・提供による環境負荷削減      | オンデマンド印刷により、在庫廃棄量を削減 | オンデマンド印刷により水資源使用量を削減、在庫廃棄量を削減                            | 台紙が不要なラベルや書き換え可能な印字プロセスの提供により紙廃棄量を削減    | —                          | —  | 環境・エネルギー事業により、脱炭素社会の実現・循環型社会の実現に貢献  |

## 事例

# SDGsの輪を社内外に広げる

SDGsの達成にはお客様や地域社会と共に取り組む必要があります。国内販売関連会社リコージャパン(株)では、SDGs達成に貢献する製品・サービスを提案するとともにSDGsの輪を広げる活動を積極的に行っています。

2019年に発行したSDGsコミュニケーションブック > 図では、中小企業の課題解決への貢献や脱炭素社会の実現にむけた自社事業所での取り組み事例を掲載するとともに、SDGsをどのように社内で開催してきたのかを紹介しています。

このSDGsコミュニケーションブックを通じた訴求に加え、SDGsの強化月間を2回実施し、各部門での推進の中心となるキーパーソンを選出して展開するなど、活動の質と量を向上させています。

リコージャパン社員のSDGsの認知度は99%まで達し、社員にとって日頃の活動が社会課題の解決に貢献することで動きが広がっています。そして社員の意識向上がお客様や地域社会とともに社会課題の解決に貢献する行動に結びついています。



中小企業の課題解決に貢献した事例を紹介

## 詳しくはWEB

2 ESG委員会 [jp.ricoh.com/governance/governance.html](http://jp.ricoh.com/governance/governance.html)

3 マテリアリティ [jp.ricoh.com/sustainability/materiality](http://jp.ricoh.com/sustainability/materiality)

4 SDGsコミュニケーションブック [www.ricoh.co.jp/-/Media/Ricoh/Sites/co\\_jp/sales/about/csr/report/pdf/csr\\_reportSDGs.pdf](http://www.ricoh.co.jp/-/Media/Ricoh/Sites/co_jp/sales/about/csr/report/pdf/csr_reportSDGs.pdf)